

## ②軸・ルート別の景観形成方針






### ■景観軸




名称	景観形成方針
河川景観軸 ・天降川沿川 ・霧島川沿川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天降川及び霧島川沿いでは、自然の創り出した美しい渓谷や清流と樹林地がつくる景観、川沿いの田園景観など、その流れとともに多様な景観が見られます。</li> <li>・このように上流から下流まで、清流とともに創り出されている美しい水辺の景観の保全・形成を図るとともに、水辺に親しむ視点場等の整備を推進します。</li> </ul>

### ■景観活用ルート

ルート名	景観形成方針
鉄道ルート ・JR 日豊本線 ・JR 肥薩線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地と北部及び東部の山間地をつなぐルートであり、車窓からは市街地のまちなみや美しい樹林地、谷間に広がる田園など、その移動に伴い変化に富んだ景観を見ることができます。</li> <li>・また、本ルートでは、鉄道の車窓という、日常よりも少し高い視点から、その沿線を見渡すことができるという特性があります。</li> <li>・これらの特性をふまえ、沿線地域を中心に官民一体となり、日常的な利用者には季節の変化を、来訪者には地域の「おもてなしの心」が感じられる車窓からの見え方に配慮した景観形成に取り組み、本市の多様な景観を通じた地域の魅力発信に努めます。</li> </ul>
回遊ルート ・国道 223 号 ・県道国分霧島線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地と各地域の温泉郷や霧島神宮などをつなぐ重要な回遊ルートであり、市街地の景観から自然景観まで多様な景観を見ることができるとともに、周辺には多くの地域資源が分布しています。</li> <li>・また、移動に伴い、本市のシンボリックな景観要素である霧島連山や桜島への眺望が開けるのも特徴です。</li> <li>・これらの特性をふまえ、美しく雄大な自然景観や季節の変化を体感できる重要なルートとして、沿道及び周囲の自然や地域資源を活かした景観の保全・形成を図ります。</li> </ul>
錦江湾沿いルート ・東九州自動車道 ・国道 10 号 ・国道 220 号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・錦江湾沿いのルートであり、田園や市街地、海岸線に迫る丘陵地など移動に伴い変化する沿線の景観とともに、錦江湾や桜島への眺望を連続的に見ることができます。</li> <li>・特に、東九州自動車道では、一般道よりも高い視点から、その沿線を見渡すことができるという特性があります。</li> <li>・これらの特性をふまえ、錦江湾や桜島への眺望及び本市の地形が生み出す特徴的な景観を連続的に見ることのできる重要なルートとして、沿道及び周囲の自然や地域資源を活かした景観の保全・形成を図ります。</li> </ul>
歴史の道ルート ・城山 1 号線 ・御里～国分高校前線 ・県道日当山敷根線 ・参宮 2 号線 ・参宮 1 号線 ・神宮～内山田線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国分の城山の麓から府中を経て、鹿児島神宮へとつながるルートであり、周辺には舞鶴城下町や大隅国府跡、大隅正八幡宮関連遺跡群など多くの歴史的な地域資源が分布しています。</li> <li>・このような特性をふまえ、地域固有の歴史を今に伝える重要なルートとして、沿道及び周囲の歴史的な地域資源を活かした景観形成を図ります。</li> </ul>



	山の景域		平地の景域
	里の景域		錦江湾沿いの景域
	まちの景域		

-  河川景観軸
-  景観活用ルート
-  シンボルとなる眺望の対象